

3か町村一堂に会したマンモス宴会



本荘昇一
(53歳・北清水新青)

若者から82歳までの幅広い参加で、車中はカラオケはもとより、元海軍といわれる75歳のおじいさんの力強い軍歌など、また珍芸も飛び出して、あちこちから花が寄せられ、車中は笑いの渦と化し、割れるような手拍子と拍手に熱気があふれんばかりでした。隣りの車両から車両へ、行ったり来たり、畳の上のでの膝を交えた語り合いに心のふれ合を感じました。

〔ご夫婦でカラオケ〕

膝を交えて語る



一夜明けた会津の空は澄みきった上天気、バスにゆられて始発駅郡山へ。会津磐梯山は宝の山よ」と民謡で有名な磐梯山は早くも雪化粧、わが国屈指の猪苗代湖は、白鳥たちがのどかにたわむれる情景に皆うつとり……。

会津のシンボル鶴ヶ城では、市長から贈呈の歓迎セレモニーなど、一味違つたバスの旅ができました。



松尾町長(右)、横芝町助役(左)の、
息の合った鏡開き



レベルアップ

お座敷列車は、私にとつて老人列車というイメージしかなく、気のりのしない旅への出発であったが、想像していかつたことが次々と展開し、充実した2日間であった。

他町村とのコミュニケーションの場として、また駅は町の窓口でもあり、その発展のためにも微々たる力ではあったが貢献できたと思うとうれしい。今後ぜひ、若の方々もこの企画に参加を望んでほしい。

また帰路の車内は、行きにもましてのぎやかさ。その中で、屋形の浅野虎雄さん外5名が珍芸をひっさげて各車両訪問、これが受けに受けて、慰労の花が次々と寄せられました。そして、その総額一万七千円が恵まれない人々たちのためと、寄付されるという心暖まる一コマもあり、この旅の楽しさを一層大きなものとしてくれました。



私は誰でしょう！宴会の華でした――

熟年憩いの旅



国分美佐子
(66歳・栗山南部I)

車内は格子戸・畳敷きの純和風調で、座卓を囲んで盛沢山のごちそうに歓談や歌で尽きることのない和やかさ。宿では3か町村が一堂に会した宴会は実際にみごとなもので、時間の経つのも忘れるほど楽しみました。

そして、鶴ヶ城を背に記念撮影、地元から町村長に歓迎の花束贈呈、会津歴史館の見学などが行われ、すばらしい2日間を過ごさせていただきました。

畳敷きのゆつくりとした列車。車内は終始なごやかで、互いに胸襟を開いて語り合う人との和、融和と親睦に満ちたふれ合いの場。来年もこのような旅行がぜひ欲しいものです。

総じてこの旅行は、拍手・手拍子に始まり、関係各位の行き届いた配慮に終わる楽しい企画であつて、10年若返りの感――。私ども生涯の一頁を飾る思い出として、深く心に残ることであります。